

川越定通信

快挙！

三年一組鈴木麻衣さん

が、全国高等学校校定時

制通信制生徒生活体験

発表大会で文部科学大

臣賞を受賞！

十一月二十二日、第五十七回
全国高等学校校定時制通信制生徒
生活体験発表大会が、国立オリ
ンピック記念青少年総合センタ
ーで行われました。

全国の定時制・通信制の代表
者五十六名の参加があり、その
中で埼玉県代表の本校鈴木麻衣
さんが見事、「文部科学大臣賞」
を受賞しました。

鈴木さんは、「ハンディキャッ
プと共に」という題名で発表し、
難聴でありながらも、周囲の人
たちに支えられながら、自らの
努力し、前向きに考え、生きて
いることを語りました。

これからもますますの活躍を
期待しています。
(関根満)

文部科学大臣賞を受賞

して

鈴木麻衣

私は、十一月二日に国立オ
リンピック記念青少年総合セン
ターで開催された、第五十七回
全国定時制通信制生徒生活体験
発表会に埼玉県代表として出場
しました。

私は、「ハンディキャップと共
に」という題名で発表しました。
午前の発表では、一番はじめの
発表だったので緊張してしまい

ましたが、午後の発表では、も
うこれで最後なんだ、という思
いで臨み、自分の持っている精
一杯の力を出し尽くすことがで
きました。

「文部科学大臣賞」と聞いた
時、まさか自分が受賞するとは
思っていませんでした。「喜び」
よりも「驚き」の方が大きかつ
たと思います。

また、全国大会では私の他に
も様々な経験をしている人々の
話を聞くことができ、とても良
い経験になりました。

私は、これからも周りの人々
の支えに感謝し、今度は自分が
誰かの支えになりたいという前
向きな考えができるようになり
ました。そして、将来は人の役
に立てる仕事に就きたいと思っ
ています。

生徒アンケートについて

今年度も、「川越高校校定時制
に関するアンケート」を十月に
実施しました。

例年より少し早めでしたが、

アンケート結果を残り少ない授
業に生かすという趣旨で行いま
した。

生徒全員が答えてくれた設問
は、別紙に掲載しました。

授業に関するアンケートの結
果についても、先生方全員に配
布しました。

今回の結果から、昨年度より
も比較的満足度が高い結果が得
られています。また、進路につい
ては昨年同様満足度が低い結果と
なっています。

この結果を踏まえて、十一月
に先生方がお互いの授業を参観
しました。また、今後の生徒へ
の指導も含めた研修会も実施い
たしました。

皆さんの期待に応えるべく、
全教職員で授業をはじめ教育活
動を充実させていく努力をして
いきます。

なお、二月五日に学校評価懇
話会を行います。一時間目の授
業を参観した後、このアンケー
ト結果も資料として、さまざま

な議論をする予定です。

(大政正一)

進路指導部より

進路指導部より、本年度卒業学年三六名の進路中間報告をいたします。

大学希望者七名中三名合格、専門学校希望者七名中五名合格、就職希望者一六名中内定五名(そのうち、学校・ハローワークを通しての内定者是一名)、その他六名となっております。就職希望者が大変厳しい状況にあります。一月二〇日と二月二五日の企業説明会に向けて履歴書の再作成をするなど努力を続けているところです。

(小橋陽一)

新生徒会長から

十一月二五日の役員選挙で、生徒会長に選出されて嬉しさの反面、不安な気持ちもありました。更に、生徒会長になった事で責任の重さも感じています。しかし、立ち会い演説の時に話した「クラスの皆が、川高に入

学して良かった。」と卒業式の時に思えるよう、精一杯頑張りたいと思います。

私たちの学年は、川越高校定時制最後の学年なのでクラスメイトと皆で協力し、行事運営に取り組んでいきたいと思っています。

私の目標は、昨年度生徒会で学んだ事を受け継ぎ、より充実した生徒会にしたいと思っています。

これから控えている様々な行事に対して、自分が中心となり一人一人の心に残る行事になるように努力したいと思っています。

卓球部について

(鈴木麻衣)

三年一組の大橋なつみさん、沼崎亜紀子さんが第四十二回全国高等学校定時制通信制卓球大会(八月四日、駒沢オリンピック体育館)に埼玉県代表として、シングルスに出場しました。結果

沼崎〇―3森下(弘前中央校)

大橋〇―3垣田(厚木清南高)健闘しましたが、惜しくも敗退しました。

なお、沼崎さんは十月に行われた県民総合体育大会においても、シングルス県四位に入りました。

くすのき祭について

(小島代臣)

今年のくすのき祭も例年どおり九月五、六日(土、日)に行われ、たくさんのお客様が来場し、最高に楽しくくすのき祭になりました。

今年も販売部門と展示部門とに分かれ、とても素晴らしい成果を残しました。

販売部門は、部長をはじめ販売担当の本部が中心となり、夏休み中から準備し当日たくさんのお客様が来場し、ほとんどが完売することができました。

展示部門では、総合学習の時間や夏休みを使い大きな壁画を描き、すてきな作品や飾りつけができました。全日制の生徒や、他校生の人たちも感心していま

した。

来年のくすのき祭は、定時制の人数が少ないですが、今年以上に楽しくくすのき祭にしてほしいと思います。(沼崎有紀子)

体育祭について

去る十月九日(金)に、体育祭が行われました。「障害物リレーA」、「玉入れ」、「台風の目」、「大縄跳び」、「障害物リレーB」の順に競技が進行し、笑いあり、真剣勝負ありの終始「ドラマティックな展開でした。

四年一組が僅差で逃げ切り優勝と思われましたが、大トリの得点が高い鉛探しの競技で、三年二組が一着だったため、順位が逆転し総合優勝は三年二組が手にすることになりました。

私は、カメラのレンズ越しに体育祭の様子を見て、全員が笑顔で一生懸命になって取り組んでいた姿が今でも脳裏に焼き付いています。(秋吉美紅)

東京デイズニースーの遠足について

今年卒業学年から多くの希望もあったので、東京デイズニースーとなった。四年生は二度目のデイズニースーである。

当日は、天気にも恵まれ、穏やかな日であった。

しかし、入場者はいつものように多く、グループによっては相当の時間を待ったり、ファーストパスを有効に利用したりしていた。

そして、各グループに渡したカメラの写真には、友達との楽しそうなスナップ写真がたくさん記録されていた。(星野良作)

薬物乱用防止教室について

今年度の薬物乱用防止教室は、十一月十八日(水)に実施しました。

「薬物は絶対ダメ!」という視点から、例年どおり実施していますが、今年芸能人のスキヤンダル等で社会的にも関心を集

めている影響もあり、改めて薬物の種類、依存性の強さ、恐怖というものを伝えました。

また、それと並行して、現在携帯電話を介しての様々なトラブルに中・高生が巻き込まれている事を考慮して、ブログ等で安易に個人情報流すことの危険さを伝えました。(小島代臣)

防災訓練について

防火・防災についての意識啓発を目的として、川越消防局のご協力のもと、煙体験及び地震体験を行いました。

煙体験では、無害の白い煙が充満したテントに一人ずつ入り、火災時での煙が、いかに恐ろしいかを体験しました。

また、地震体験では、4、5名ずつ地震車に乗り、関東大震災や阪神大震災クラスの地震を体験し、それぞれの状況に遭遇した場合に、どのような対応をすべきかを学びました。

(佐々木則子)

球技大会について

二月十六日(火)に、球技大会を開催しました。

種目は男女ともバドミントンで、上位の結果は次のとおりです。

男子シングルス

優勝 渡辺政美(四年一組)

準優勝 柳川岳士(三年二組)

男子ダブルス

優勝 永野翼・江原智博

(三年一組)

準優勝 井上裕太・吉田純也

(三年一組)

女子シングルス

優勝 安部井愛鈴(三年一組)

準優勝 沼崎有紀子(三年二組)

女子ダブルス

優勝 筋野彩・渡邊衣美

(三年一組)

準優勝 黒田有希・斎藤瑠莉

(四年一組)

おめでとうございました。

人権教育について

十二月二十一日(月)に、人権教育を行いました。

今回は、講師三名の方にいらしていただいた「認知症サポートー養成講座」を実施しました。厚生労働省主催で、全国各地で行われている講座ですが、「サポートー」といっても、何かしなければならぬものではなく、認知症の理解者を増やすことを目的としたものです。

生徒の感想は、自分の身内やアルバイト先で接する方を思い浮かべて書かれたものが多く、自分にも関係のある事として考えてくれたようです。

認知症もそうですが、同じ病気でも、人によって、どんなときに何をしてほしいかは違うものです。マニュアルはありません。その事を頭に置いて、今回の講座を参考にして下さい。

(関口享子)

あとがき

くすのき祭から始まり、人権教育まであつという間の二学期をもう一度振り返ってほしいと思います。

皆さん各自が、どんな思い出が作れたでしょうか。多くのことを思い出せる人は、きっと充実した生活だったのではないかと思います。反対に、思い出すことが少ない人は、なぜなのかよく考えてみてください。

いずれにしても、新たな年を迎えます。区切りをつけて、平成二十二年を良い年にできるよう頑張りましょう。期待しています。

特に、四年一組と三年二組は最後の高校生活です。終わりをければすべてよし。頑張ってください。

(大政)